

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL <http://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 仁基
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進室長 (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-5738-5900
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,718	493.1	4,654	—	4,636	—	2,919	—
26年3月期第1四半期	2,144	△39.4	△84	—	△193	—	△253	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,900百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	36.32	36.27
26年3月期第1四半期	△3.39	—

(注) 1. 平成26年3月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、平成26年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	31,594	25,128	79.4
26年3月期	26,492	22,427	84.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 25,087百万円 26年3月期 22,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	—	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成26年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成26年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期末の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	729.2	13,000	—	13,000	—	8,000	—	99.51
通 期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	83,203,000株	26年3月期	83,203,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,801,000株	26年3月期	2,843,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	80,381,451株	26年3月期1Q	74,660,000株

(注) 当社は、平成26年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成26年8月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	2,144	12,718	493.1%
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	△84	4,654	-%
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△193	4,636	-%
四半期純利益又は四半期純 損失(△)(百万円)	△253	2,919	-%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税前の駆け込み需要の反動が一部には見られたものの、経済政策や金融緩和を背景とした企業収益・雇用情勢の改善が見られるなど、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

インターネット関連業界におきましては、「平成26年版 情報通信白書」(総務省)によりますと、平成25年末のスマートフォン世帯普及率は62.6%(前年比13.1ポイント増)と急速に普及が進んでおり、今後もスマートフォン市場は更に拡大していくものと予測されます。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,718百万円(前年同四半期比493.1%増)となり、営業利益は4,654百万円(前年同四半期は営業損失84百万円)、経常利益は4,636百万円(前年同四半期は経常損失193百万円)、四半期純利益は2,919百万円(前年同四半期は四半期純損失253百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

① メディア・コンテンツ事業

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,877	11,258	499.8%
メディア事業(百万円)	1,877	1,209	△35.6%
コンテンツ事業(百万円)	0	10,049	(注)
セグメント利益(百万円)	395	5,031	1,171.9%

(注) コンテンツ事業の売上高の前年同四半期比増減率につきましては、前第1四半期比130,719倍と大幅に増加しておりますが、これは同事業の売上高の大部分が前第3四半期連結会計期間に開始した「モンスターストライク」によるものとなっているためであります。

メディア事業：ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきまして、コミュニティ・ニュースの情報の一部をインターネット開放し、コンテンツへの導線を強化するなど、同じ趣味・関心を持つ人同士を「mixi」でつなげ、サービスの活性化を図っております。収益面では、デバイス環境の変化等の影響から売上高が減少しておりますが、アドネットワーク広告の運用強化等を進めております。

コンテンツ事業：スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」は、簡単な操作で誰でも楽しめること、一緒にいる友人と協力する仕組み(マルチプレイ)が特長であり、利用者が順調に増加してまいりました。海外展開第一弾として5月より台湾での展開を開始し、国内では平成26年3月よりTVCMを開始しており、7月には全世界での利用者数が1,000万人を突破いたしました。収益面では、利用者増加に伴い売上高・利益ともに順調に拡大しております。

この結果、売上高は11,258百万円(前年同四半期比499.8%増)、セグメント利益は5,031百万円(前年同四半期比1,171.9%増)となりました。

② ライフイベント事業

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	226	1,393	514.5%
セグメント利益(百万円)	181	219	21.2%

求人広告事業、フォトブック事業、結婚支援事業を運営しております。

前第3四半期連結会計期間から、結婚支援事業の連結を開始したこともあり、売上高は1,393百万円（前年同四半期比514.5%増）、セグメント利益は219百万円（前年同四半期比21.2%増）となりました。

③ その他

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	40	66	64.1%
セグメント損失(△) (百万円)	△127	△117	－%

リサーチ事業やその他の新規事業を運営しております。

売上高は66百万円（前年同四半期比64.1%増）、セグメント損失は117百万円（前年同四半期はセグメント損失127百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が27,289百万円（前連結会計年度末比5,371百万円増加）となり、主な要因としては、現金及び預金と売掛金の増加があげられます。固定資産は4,305百万円（前連結会計年度末比269百万円減少）となり、主な要因としては、繰延税金資産の減少があげられます。

負債については、流動負債が6,452百万円（前連結会計年度末比2,406百万円増加）となり、主な要因としては、未払法人税等や未払金の増加があげられます。固定負債は14百万円（前連結会計年度末比4百万円減少）となりました。純資産は25,128百万円（前連結会計年度末比2,700百万円増加）となり、主な要因としては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて3,588百万円増加し、20,407百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は2,918百万円（前年同四半期は210百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の増加2,733百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が4,625百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は836百万円（前年同四半期は2,371百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は155百万円（前年同四半期は265百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成26年5月14日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

第2四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」の利用者数が順調に増加を続け、売上高も順調に拡大していることから、売上高・利益ともに増額修正しております。一方通期におきましては、売上高・利益ともに前回予想を大幅に上回るペースで進捗しておりますが、成長率等の予測が困難であることから未定とさせていただきます。合理的な算出が可能になり次第開示させていただきます。

また、平成27年3月期の配当予想につきましては未定としておりましたが、今回の業績修正を踏まえ、第2四半期末の配当(中間配当)の予想を1株当たり20円とさせていただきます。当社はこれまで、期末配当として年1回剰余金の配当を行ってききましたが、株主の皆様への利益還元を充実させるため、今期より9月30日を基準日とする中間配当を実施し、年2回の配当とする予定です。

なお、期末の配当予想につきましては、通期業績予想を未定とすることから引き続き未定とさせていただきます。

詳細は、本日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,818	20,407
売掛金	3,798	6,531
その他	350	392
貸倒引当金	△50	△42
流動資産合計	21,917	27,289
固定資産		
有形固定資産	622	577
無形固定資産		
のれん	846	773
その他	119	58
無形固定資産合計	965	831
投資その他の資産		
投資有価証券	1,418	1,493
その他	1,572	1,406
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,987	2,896
固定資産合計	4,575	4,305
資産合計	26,492	31,594
負債の部		
流動負債		
未払金	1,595	2,165
未払法人税等	213	1,565
前受金	358	591
預り金	1,538	1,468
賞与引当金	281	101
ポイント引当金	30	37
資産除去債務	20	—
その他	6	521
流動負債合計	4,046	6,452
固定負債		
長期預り金	19	14
固定負債合計	19	14
負債合計	4,065	6,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	7,013	7,023
利益剰余金	9,853	12,547
自己株式	△1,661	△1,636
株主資本合計	22,238	24,968
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	137	118
その他の包括利益累計額合計	137	118
新株予約権	46	36
少数株主持分	5	4
純資産合計	22,427	25,128
負債純資産合計	26,492	31,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	2,144	12,718
売上原価	695	1,554
売上総利益	1,448	11,163
販売費及び一般管理費	1,533	6,509
営業利益又は営業損失(△)	△84	4,654
営業外収益		
受取利息	1	0
投資事業組合運用益	0	—
為替差益	5	—
その他	4	5
営業外収益合計	11	5
営業外費用		
持分法による投資損失	117	—
為替差損	—	3
投資事業組合運用損	—	19
その他	1	0
営業外費用合計	119	22
経常利益又は経常損失(△)	△193	4,636
特別利益		
新株予約権戻入益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	12
減損損失	34	—
特別損失合計	35	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△227	4,625
法人税、住民税及び事業税	66	1,577
法人税等調整額	△40	128
法人税等合計	25	1,706
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△253	2,919
少数株主損失(△)	—	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△253	2,919

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△253	2,919
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	55	△18
その他の包括利益合計	55	△18
四半期包括利益	△197	2,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△197	2,900
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△227	4,625
減価償却費	78	55
減損損失	34	—
のれん償却額	22	72
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△179
受取利息及び受取配当金	△1	△0
為替差損益(△は益)	△14	3
持分法による投資損益(△は益)	117	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△0	19
固定資産除売却損益(△は益)	1	12
売上債権の増減額(△は増加)	680	△2,733
未払金の増減額(△は減少)	△235	537
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38	507
前受金の増減額(△は減少)	△4	232
預り金の増減額(△は減少)	△108	△143
その他	△60	101
小計	134	3,102
利息の受取額	3	0
法人税等の支払額	△348	△185
営業活動によるキャッシュ・フロー	△210	2,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	3,500	1,000
有形固定資産の取得による支出	△31	△7
無形固定資産の取得による支出	△67	△4
投資有価証券の取得による支出	△106	△114
投資有価証券の分配による収入	77	4
その他	△0	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,371	836
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	25
配当金の支払額	△265	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△155
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,944	3,588
現金及び現金同等物の期首残高	9,199	16,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,143	20,407

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	メディア・ コンテンツ 事業	ライフイベ ント事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,877	226	2,103	40	2,144	—	2,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	1	5	10	16	△16	—
計	1,881	228	2,109	51	2,160	△16	2,144
セグメント利益又は損 失(△)	395	181	576	△127	449	△534	△84

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットリサーチや当社イノベーションセンターによる新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△534百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	全社	合計
	メディア・コン テンツ事業	ライフイベ ント事業	計			
減損損失	34	—	34	—	—	34

(注) メディア・コンテンツ事業の減損損失は、上海蜜秀网络科技有限公司及び上海明希网络科技有限公司を清算する意思決定を行ったこと等に伴うものであります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	メディア・ コンテンツ 事業	ライフイベ ント事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,258	1,393	12,651	66	12,718	—	12,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	4	5	8	13	△13	—
計	11,258	1,398	12,657	75	12,732	△13	12,718
セグメント利益又は損 失(△)	5,031	219	5,251	△117	5,133	△479	4,654

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ事業や当社イノベーションセンターによる新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△479百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは当第1四半期連結会計期間から、事業ポートフォリオの拡大に合わせて報告セグメントの名称及び区分方法を以下のとおりに変更しております。

従来「ソーシャルネット事業」「Find Job!事業」としておりましたセグメントの名称を、当第1四半期連結会計期間から「メディア・コンテンツ事業」「ライフイベント事業」に変更しております。また、従来「ソーシャルネット事業」に属していた事業を「メディア・コンテンツ事業」に移管し、従来「Find Job!事業」に属していた事業と、「その他」に属していた事業の一部(フォトブック事業及び結婚支援事業)を「ライフイベント事業」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。